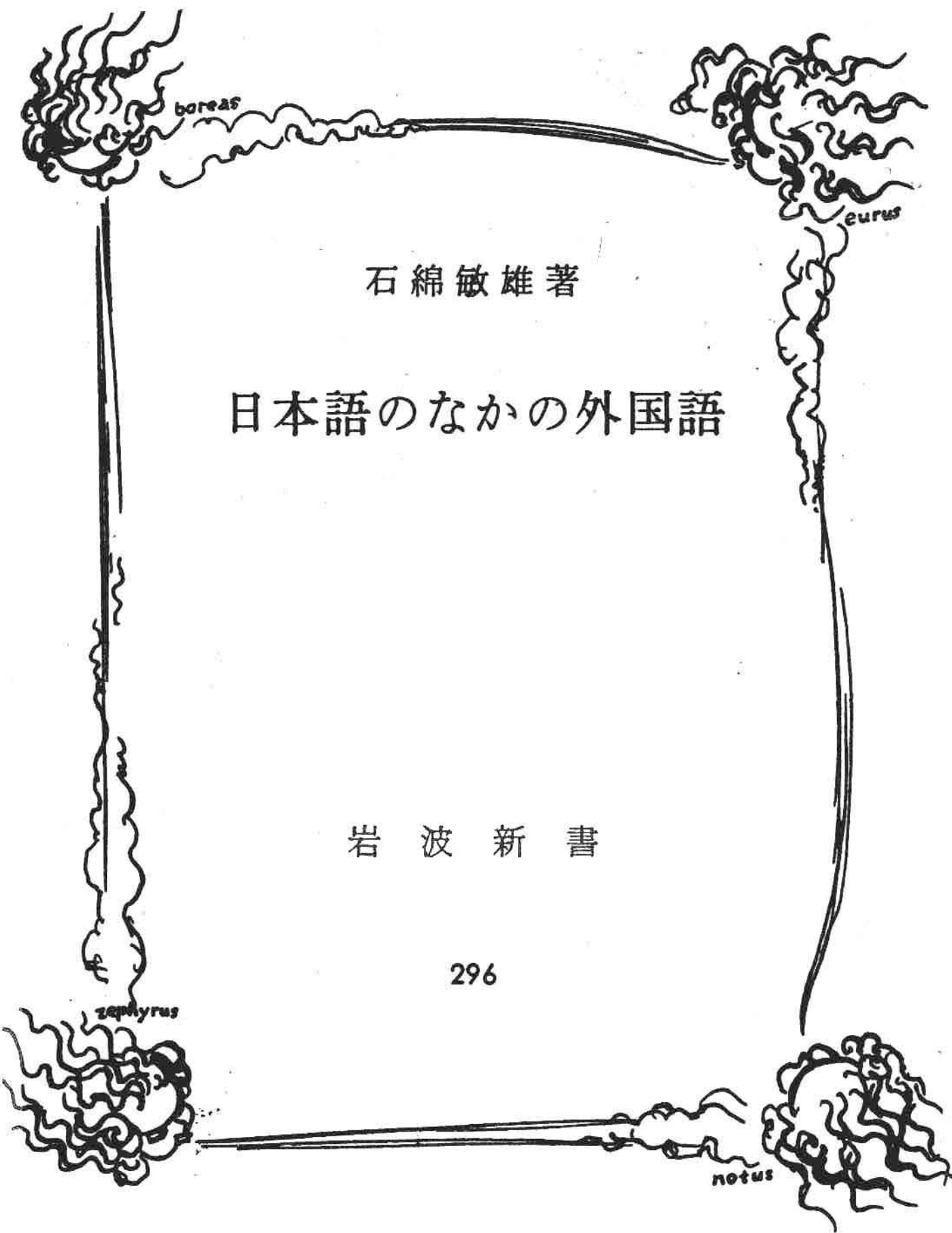


石綿敏雄著

日本語のなかの外国語



岩波新書



石綿敏雄 著

日本語のなかの外国語

岩波新書

296

石綿敏雄

1928年東京都に生まれる

1951年早稲田大学教育学部卒業

専攻一言語学

現在一茨城大学教授

著書一「外来語と英語の谷間」(秋山書店)

「外来語の語源」(共著, 角川書店)

「角川実用国語辞典」(共編, 角川書店)

日本語のなかの外国語

岩波新書(黄版) 296

1985年3月20日 第1刷発行 ©

定価 430 円

著 者 いし わた とし お
石 綿 敏 雄

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5
発 行 所 株式会社 岩 波 書 店

電話 03-265-4111

振替 東京 6-26240

印刷・製本 法令印刷

落丁本・乱丁本はお取替いたします

Printed in Japan

目 次

第一章	盛んな外来語論議	1
-----	----------	---

第二章	実態をデータに見る	11
-----	-----------	----

第三章	外来語の生態	63
-----	--------	----

一	外国語から外来語へ	65
---	-----------	----

二	外来語はこうして生まれる	71
---	--------------	----

(1)	新しい事物、新しい考え方	75
-----	--------------	----

(2)	新鮮な印象を求めて	90
-----	-----------	----

(3)	従来のものでどこか違う場合	98
-----	---------------	----

(4)	浸透する専門用語	100
-----	----------	-----

(5)	国際化時代のなかで	107
-----	-----------	-----

(6) 婉曲な表現 118

(7) 言語構造にもとづくもの 122

三 日本語化に際してこう変わる 128

四 外来語としての漢語 138

五 亡びゆく外来語 147

第四章 これからの日本語と外来語 151

一 外来語の長所と短所 154

二 分かれる意見 168

三 国語純化運動は成功するか 179

四 生活・素養・教育 199

五 豊かな議論のために 210

あとがき 215

第一章 盛んな外来語論議

氾濫する外来語

最近、新聞の投書欄などに、外来語について論じたものが載ることが多い。その内容の多くは、現代の日本語には外来語があまりにも多すぎるということであり、日本語としてこれでよいのかという意見をまじえていることが多い。それに対して、外来語が多くていいではないか、生かして使おうという意見も出てくる。ときには、意見が対立して論争になることもある。

本書では、そのような議論を出発点として、現代の日本語における外来語のありかたについて考えてみたいと思う。

そこでまず、たくさんある実際の投書のなかから、いくつかを選んでみよう。

投書 1

はじめの投書は、一九八三年一二月一六日の毎日新聞「読者の目」のページに載ったものである。全体が長いので、ぬき書きする。

カタカナ言葉 見直しを

使いすぎと言ひ換えの努力

藤井能成

……外来語の多少は、その民族の好奇心の強弱によるという。日本人は、昔から外国の文物への好奇心が強く、外来語を積極的にとり入れてきた。それを一般の人にもわかるように日本語に置き換えてきたが、戦後の大量輸入以来、日本語に置き換える努力が払われなくなった。自動車の部品のうち日本語は「三角窓」だけだというし、老人は「カウンセラー」「ケースワーカー」に小首をかしげている。

外来語の洪水の中で、外国人にも通じない和製外来語や疑似外来語まで登場するようになった。……日本語は、このあたりでカタカナ言葉を整理して下さいと泣いている。マスコミの中でも、最も影響力の大きい新聞が、カタカナ言葉を見直し、使用を抑えることに努力すべきときである。……

外来語でも「七五三の子、プティィ！」は「…可愛い」、「財投も一ケタアップ」は「…一けた上がる」、「グリーンシティ」も「緑化都市」と「自重」すべきではないか。

カタカナ言葉の見直しは、正しい日本語を守り育てるだけでなく、日本の文化を伝承していくうえで必要である。

この投書では外来語の使用を批判しているが、実はそれだけでなく、外来語以外のことはカタカナで書くことについても批判している。そのように二つの主張を含んでいるので、ここではそのなかから外来語批判の部分をぬきだした。ここでいわれているポイントを、いくつか挙げてみよう。

日本人は外来語を積極的にとり入れてきた結果、いま外来語は氾濫している。意味のわからないことばがあり、コミュニケーションの役を果していない。

外国人にも通じない和製外来語がまじっている。

マスコミのなかでも大きな影響力をもつ新聞社などが、まずなんらかの手をうつべきである。

外来語についての論争ではいろいろの問題が出てくるが、そのなかの多くの点について、ここで指摘されている。

投書 2

この種の投書がいくつも出、「外来語の氾濫は目にあまるものがある」「日本語は減びる」という趣旨の投書が続くと、それを受けて、逆に外来語を積極的に生かして使おうという趣旨の投書が出てくる。

外来語どしどし使おう

言葉の「鎖国化」を恐れる

徳永達己

最近「読者の目」のページに、外来語の使用について一部の制限や追放等を希望する意見が目立ちますが果たしてそれは本当に私たちの生活に有益なことでしょうか。今後、私たちの社会が一層国際化していくことを考えるのならば外来語はむしろ積極的に導入していくべきだと考えます。……

私たちは野球観戦をする場合「右飛」とか「重盗」などの言葉は実際使用しません。やはり「セーフティーバント」や「ヘッドスライディング」でなければ、あの野球のスリリングな試合展開を表現出来ないでしょう。……

それに外来語はスポーツや医学等の専門用語の場合、世界共通語なので、言葉の壁を越え海外の多くの人と意思を通じ合えるといった大きなメリットがあるのです。……

(毎日新聞、一九八四年一月二九日)

この投書ではほかに、外来語が日常語として定着しているのは便利だからであるということや、外来語を導入することは決して日本語の崩壊につながる、ということ述べている。

ここに引用した部分では、

今後の国際化時代を考えて、外来語を導入していくべきだ。

スポーツ用語の場合、書きことばとして漢語はあっても、話しことばでは使わない。話しことばでは外来語を用いる。

専門語の外来語は国際共通語であり、それを使用することにメリットがある。などの主張が見られる。

家族の会話も外来語が侵す

高屋須比呂

文化面の「いま日本語は……」をよんだ夜、我が家の団欒だんらんの時、私が幻灯機の話をしたら、十代の息子が「幻灯機なんて、古ぼけた日本語を使わないで、スライドと言ってほしいな。全くお母さんは古いんだから」。夫がそばから「時代に合った言葉を使わなくてはね」。

どうやら、日本語でいうと軽蔑の対象になる世の中になってしまった。こうして、日本語は家族の会話の中から気がつかないうちに一つ、二つと消えて行く。やがて外来語に侵略され、カタカナがほとんどの本が本屋に陳列される日も近いのではないか、などと外国語恐怖症の私は一層の不安をいただく。

家庭の主婦も外来語をかたっぱしから覚えていかないと将来、孫と話が出来なくなりそうである。年に一、二回美容室に行くが、そのたびに料金表に聞きなれないカタカナが出てくる。何やら分からなくて高価だと、高貴で神秘的な髪形（また息子にヘア

スタイルと言ってよと注意されそう)になるかもしれないと思う女性心理も分からぬことではないが。

考えようによっては、外国語をどんどん吸収して日本語が消えたあと、世界共通語一本になるのもいいかもしれないが、現状ではどうしようもないチャンポン語が出来そうな気がする。

(朝日新聞、一九八四年八月二四日)

この第三の投書も、外来語の氾濫を訴えたものである。将来の日本語がどうなるかを案じたものである。

ことばがどんどん変わり、外来語が増加してゆく。近い将来、日本語はほとんどカタカナ語化されるのではないか。

美容関係でも聞きなれないことばが出てくる。

日本語は将来、外国語と日本語の混合語になる。

第三の投書には、このような意見・感想のほかに、家庭内の種々の事実が述べられている。それは、家族の間でも外来語についての意見がことなるという事実である。外来語に

ついで意見は、人により、世代により、立場によってかなりの相違がある。外来語に反対し、これを使わないようにしようとする人たちと、外来語だということにこだわらず、現代のことばとして使いこなしていこうとする人たちである。この相違について、第三の投書では指摘している。

実態はどうか

以上の投書でふれているような問題、たとえば日本語のなかに外国系のことばがふえ、外来語が氾濫しているということを考えるとき、実態はどうかになっているのかをまず考える必要がある。外来語が氾濫しているというが、いったいどのくらい使われているのか。外来語がふえているというが、どのくらいふえているのか。外来語について賛否両論があるようだが、どういう人がどういう意見をもっているのか。これらの実情を正確に見定めた上で、それらがよってきた原因、それを成り立たせている環境をみてゆくという手順をふむべきだろう。次の章では、現状を正確に見定める努力をしてみたい。

第二章

実態をデータに見る

